



ともき
(名古屋市・6歳)

http://www.eqg.org/oyanokai

保育園を考える親の会

つうしん

2017.1.31
No.171

(郵便 00110-4-571820 会名義)
年会費 2,000 円

事務局:葛谷悦子 E-mail:oyanokai@v7.com 代表:普光院亜紀 170-0013 豊島区東池袋 4-27-5-1213 TEL&FAX 03-6416-0721

今年もよろしくお祈りします

★今年最初の「つうしん」をお届けします。この1年、皆様にとって健やかで幸多い年となりますようお祈りします。

★お正月休みは短期間ですが実家に滞在しました。今回の最大の「事件」は5歳の息子が初めて祖父(わたしの父)と2人だけで散歩に出掛けたこと。30分歩いた先の公園でカルガモにパンをやり、アイスを買ってもらった!と息子は大喜びで帰ってきました。せっかちで子どもが苦手な父が、やんちゃ盛りの孫を連れだす日がこようとは……と感涙の母でした。年1回の帰省でも、子どもの成長を実感させられます。

イベントレポートを掲載しています

★今号では、2つのイベントレポートを掲載しています。

★「はじめての保育園 in 横浜」を、2016年10月2日に男女共同参画センター横浜北共催、青葉区役所ご協力により開催しました。保育園探し、入園・復職に向けた準備、入園後の生活などについて、情報提供や交流をしました。10ページからご覧ください。

★同じく横浜では初めてのイベント「『小1のカベ』に勝つ」を2016年11月20日に開催しました。小学校入学を控えた保護者の方を対象に、就学準備の話、学童保育など放課後の子どもの過ごし方等について、先輩バ

バ・ママからのアドバイスも多数あり、充実した会になりました。15ページから掲載しています。

★なお、毎年恒例の「はじめての保育園」全体版を2月26日に開催します。詳細は2ページをご覧ください。

「会員アンケート」ご協力ありがとうございました

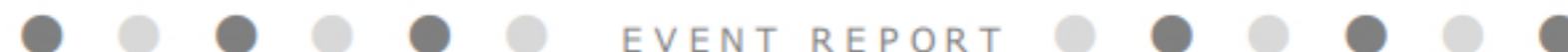
★2016年度の「会員アンケート」は、100名を超える方からご回答いただきました。ご多忙の折、ご協力ありがとうございました。今号から、集計結果を数回に分けてご紹介します。23ページから掲載していますのでぜひご覧ください。

(事務局:葛谷悦子)



つうしん 171号 もくじ

- 「はじめての保育園」お知らせ……2
- Welcome! 新入会員、カンパ等……3
- メーリングリストのまとめ
「幼児の育ちがわかる良い本、おすすめの本」……6
- イベントレポート
「新米パパ&ママのためのはじめての保育園 in 横浜」……10
- イベントレポート
「『小1のカベ』に勝つ」……15
- 2016年会員アンケート集計結果〈第1回〉……23
- 新聞スクラップ……27
- 編集後記……32



<イベントレポート>

『はじめての保育園 in 横浜』

2016年10月2日(日) 13:30-16:00

アートフォーラムあざみ野



共催 保育園を考える親の会

男女共同参画センター横浜北

協力 青葉区福祉保健センターこども家庭支援課

●2017年度の入園申請が間もなく、というこの時期に毎年開催される同イベント。50世帯を超える方にご参加いただきました。今年も青葉区役所協力のもと、基礎知識や入園手続きなどについてお話いただいたあと、保育園を考える親の会の先輩ママ&パパによるトークを行いました。以下、プログラムに沿ってレポートします。

保育園の基礎知識～入園手続きについて

【講師】青葉区役所 福祉保健センターこども家庭支援課のみなさま

横村瑞光氏(保育担当係長)

渡辺信太郎氏(担当係長)

植木優大氏(保育担当)

基礎知識として、保育所、認定こども園、小規模保育、家庭的保育などの認可の保育施設の種類、入園の手続き、保育時間、保育料、利用調整(入園選考)、横浜保育室や幼稚園の状況などを資料にそって説明していただきました。

保育施設の種類では、保育所のほかに、小規模保育や幼稚園の預かり保育も貴重な選択肢であること、横浜保育室も横浜市が独自に基準を定めた施設であり、直接契約なので早く確保できること、種類にかかわらず見学をして選ぶことが重要であることなどの助言がありました。

入園選考は、横浜市の統一の基準により、父母のうちランクが低い方で判定されること、同じランクの人が並んだ場合には、調整指数で判定されること、勤務先作成の書類が間違っていて不利になった人も過去にはいるので、自分でよく確認することなど、丁寧に解説していただきました。

さらに、参加者からの事前質問に答えて、保育の質についての指導の取り組み、待機児童の状況(14ページ「平成28年4月1日現在の保育所等利用待機児童数について」参照)、保活はいつごろから始まっているか(夏ごろには窓口への相談がふえる)、小規模保育など3歳未満児対象の保育施設からの転園が難しいという「3歳の壁」はあるのか(これまでのところ青葉区ではない)などについてもお答えいただきました。

